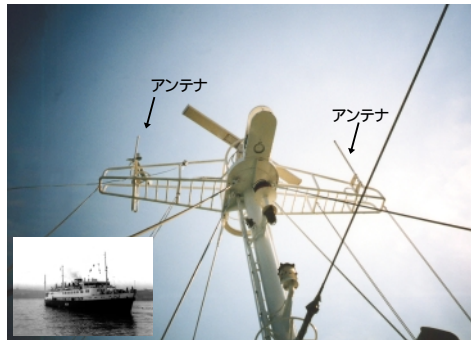


船舶電話

Maritime mobile telephone

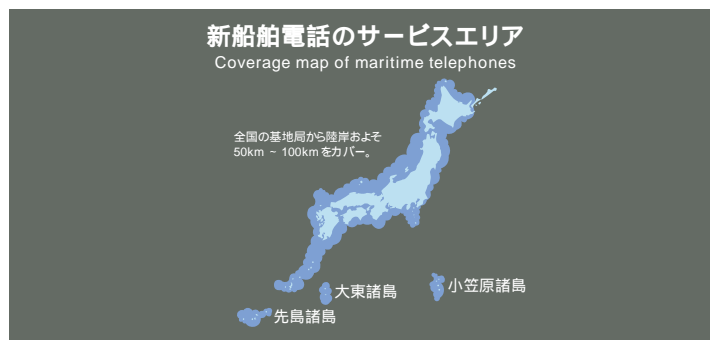
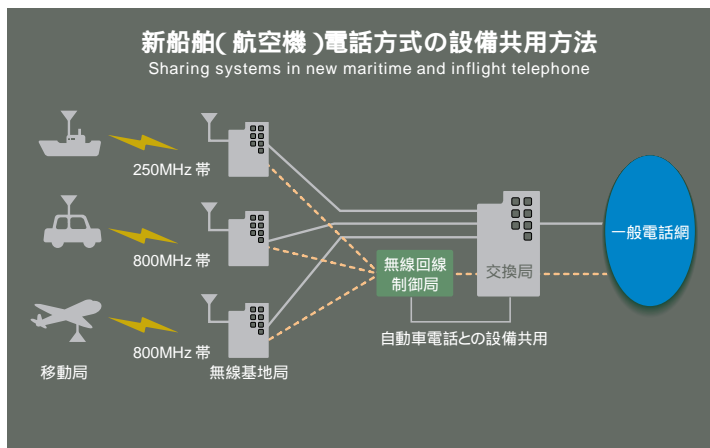
船舶電話は移動通信サービスのなかで最も歴史が古く、1953年の港湾無線電話サービスに始まる。その後、全国沿岸を対象とした自動内航船舶電話サービスが開始したことにより、点的サービスから面的サービスへ進展した。1988年には自動車電話方式とネットワークが統合されたことにより携帯タイプやカード公衆電話もサービス提供し、さらに1996年には衛星船舶電話サービスも開始した。

年	サービスの概況
1953	港湾船舶サービス開始
1959	船舶電話サービス本実施
1964	手動交換方式サービス開始（150MHz）
1979	自動交換方式サービス開始（250MHz）
1981	硬貨投入式サービス開始
1988	新船舶電話方式導入（カード・携帯用）
1990	船舶電話のキャッチホンサービス開始
1992	度数表示サービス開始
1993	国際電話サービス本実施（KDD、ITJ）
1994	陸上利用サービス開始
1996	衛星船舶電話サービス開始（衛星端末お買上げ制導入）
1998	衛星船舶電話でFAX情報提供サービス開始
1999	衛星船舶電話航海情報提供サービス開始 アナログ方式船舶電話サービス終了



新船舶(航空機)電話方式の設備共用方法

新船舶電話は、自動車・携帯電話方式との設備の共用化やマルチチャネル制御技術などの自動車・携帯電話における技術を採用していた。しかし、1996年の衛星船舶電話サービスの開始により本方式によるサービス提供は終了した。



新船舶電話方式のシステム構成図

System configuration diagram of new maritime telephone system

